

令和2年度 会 務 報 告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

月	運営委員会・常任幹事会	委員会	地域・職域等同窓会	同窓会・学校関連行事等
令和 2年 4月	4 (土) 運営委員会 15 (水) 会計監査 25 (土) 常任幹事会 《書面協議》	11 (土) 樗友祭実行委員会 13 (月) 総務委員会		1 (水) 校史展示室等公開 (新着任教職員) 6 (月) 2年度入学式
5月	2 (土) 運営委員会	7 (火) 総務委員会		
	10 (日) 樗友祭 (ホームカミングデー)・定期総会 《中止》			
	16 (土) 運営委員会	22 (金) 総務委員会		16 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 16 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会
6月	13 (土) 運営委員会	7 (日) 史料委員会 12 (金) 総務委員会		6 (土) 青春かながわ校歌祭幹事会 13 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 13 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 27 (土) バーチャル式典準備会議
7月	18 (土) 運営委員会	15 (水) 総務委員会		18 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 18 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会
8月		2 (日) 史料委員会 6 (木) 総務委員会		8 (土) バーチャル式典準備会議
9月	5 (土) 運営委員会	2 (水) 総務委員会 19 (土) 樗友祭実行委員会		5 (土) 中等教育史料館オープニングセレモニー 5 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 5 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 13 (日) 史料館公開 (横須賀高校記念ヶ丘の会) 22 (火) バーチャル記念式典収録 25 (金) バーチャル記念式典収録

10月	3 (土) 運営委員会	9 (金) 広報委員会 10 (土) 榿友祭実行委員会 (ZOOM 会議) 23 (金) 総務委員会 23 (金) 広報委員会		3 (土) 「がんばれ！小田高」 応援基金運営委員会 3 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 7 (水) バーチャル記念式典記念講演収録 8 (木) バーチャル記念式典収録 11 (日) 令和2年度榿友祭 八幡山トーク収録 24 (土) 校史資料研究協議会発足
11月	14 (土) 運営委員会	7 (土) 広報委員会 8 (日) 史料委員会 12 (木) 広報委員会 17 (火) 広報委員会 19 (木) 総務委員会		7 (土) 史料館公開 (鶴見高校鶴陵会) 14 (土) 「がんばれ！小田高」 応援基金運営委員会 14 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 20 (金) 創立百二十周年バーチャル記念式典公開
12月	12 (土) 運営委員会	10 (木) 総務委員会 10 (木) 会報「八幡山」第32号発行 26 (土) 榿友祭実行委員会 (ZOOM 会議)		12 (土) 「がんばれ！小田高」 応援基金運営委員会 12 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会
3年 1月	9 (土) 運営委員会			9 (土) 「がんばれ！小田高」 応援基金運営委員会 9 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 23 (土) かながわ校歌振興会役員会 31 (日) 令和2年度榿友祭 八幡山トーク公開
2月	6 (土) 運営委員会	24 (水) 総務委員会 28 (土) 榿友祭実行委員会 (ZOOM 会議) 15 (土) 役員候補者選定委員会		6 (土) 「がんばれ！小田高」 応援基金運営委員会 6 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 6 (土) かながわ校歌振興会総会
3月	13 (土) 運営委員会	2 (火) 総務委員会 14 (日) 史料委員会 27 (土) 榿友祭実行委員会 (ZOOM 会議)		5 (金) 2年度同窓会入会式 (第73回) 6 (土) 2年度卒業式 13 (土) 「がんばれ！小田高」 応援基金運営委員会 13 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 27 (土) かながわ校歌振興会総会

令和2年度小田原高等学校同窓会極友会 事業報告

1 活動目標

令和2年度の活動目標として掲げた項目及びその結果は次のとおりである。

(1) 同窓会事業への会員参加の促進

「親睦事業・会費検討会」の答申を受け、新たに取り組みを始めた各種事業の一層の充実を図るとともに、継続事業を確実に推進し、会員の参加を呼び掛けたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの事業が中止等に追い込まれたものの、いくつかの事業は、オンライン配信等により実施するように努めた。

(2) 小田高創立百二十周年記念事業の実施

令和2年（2020年）に母校が創立百二十周年を迎えたことから、学校、PTA、同窓会の3者で実行委員会を組織し、百二十周年記念事業として、次の事業を実施した。

ア 中等教育史料館オープニングセレモニー

これまでの校史展示室、教材展示室、図書展示室を一つの史料館としてまとめ、「小田原高校中等教育史料館」として整備し、9月5日（土）にオープニングセレモニーを開催した。

イ バーチャル記念式典

11月20日に開催を予定していた記念式典が、コロナ感染症のため開催できなくなったことから、式典として予定していた内容を「バーチャル記念式典」として、11月20日に同窓会ホームページにアップした。

① プレセレモニー 中等教育史料館オープニングセレモニー

② メインセレモニー 主催者のことば

来賓のことば

記念品贈呈とお礼のことば

③ 記念講演 「自分が面白いと思う研究をしよう！ ～大学での研究～」

東京工業大学准教授 中戸川 仁（高45）

ウ 「小田高百二十年史 創立百十周年からの歩み」の刊行

エ 記念品等の贈呈

学校へグラウンドで使用する投光器及び和室「作法室」の空調設備を贈呈するとともに、在校生全員に配布することを念頭にトートバック、クリアファイルを作成。

2 委員会の活動

(1) 総務委員会

ア 令和2年4月新入生に入学記念品（小田高歌集CD）を配布した。

イ 11月に、百二十周年記念事業として、在校生にクリアファイル、「活躍する同窓生経済界篇」、小冊子「八幡山」を配付した。

ウ 令和3年3月卒業生（高73回）に同窓会入会用案内パンフレットを作成し、配

付した。

エ 令和3年3月卒業生（高73回）に卒業記念品を贈呈した。

オ 会員名簿情報（住所変更、物故者、新会員登録、教職員異動など）を随時更新した。

カ 会員管理ソフト「幹事長」のデータを更新し、同期会への住所情報支援等に活用した。

(2) 交流委員会

ア 令和2年度榿友祭（小田高ホームカミングデー）

○ 例年の形式による開催は中止し、動画収録を行い、公開することを検討した。

○ 検討の結果、次の事業を動画収録し、榿友祭ホームページで公開し、榿友会ホームページの「小田原高校創立百二十周年バーチャル記念式典」のサイトとリンクさせた。

- ・ 八幡山トーク 「小田原高校中等教育史料館～設置とその意義～」
講師 同窓会資料委員会副委員長 石井 敬士（高11）

イ 会員の親睦を深める下記交流事業は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止した。

○ 「第11回自然環境フォーラム」

6月21日（日）開催予定

○ 「榿友ウォーク」

9月20日（日）及び令和3年3月開催予定

○ 加藤のぞみメゾソプラノコンサート

9月27日（日）開催予定

ウ 現役生徒を応援する事業は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止した。

エ 令和3年度榿友祭（小田高ホームカミングデー）の企画、準備を進めた。

(3) 広報委員会

ア 会報「八幡山」32号を12月に発行し、会報が届いていない会員のために、会員通信や個人情報の係るものを除き、同窓会ホームページに掲載した。また、会報「八幡山」32号へ10件の広告を掲載し、同窓会の財源確保に努めた。

イ 同窓会ホームページを活用し、同窓会活動の周知、参加呼び掛けの手段として活用した。

ウ ホームページを会員及び会員相互の情報発信の場としての利用をより一層促進した。

エ 榿友祭の開催を多くの会員に告知することを目的に、榿友祭フェイスブックページを活用し、榿友会のホームページと合わせ、広報の充実を図った。

(4) 史料委員会

ア 小田原高校中等教育史料館の開設

創立百二十周年記念事業の一環として、校史展示室、教材展示室、図書展示室をまとめ「小田原高校中等教育史料館」と命名し、9月5日（土）に看板を設置してオープニングセレモニーを開催した。

イ 樗友祭八幡山トーク

講演「小田原高校中等教育史料館～設置とその意義～」を石井敬士史料委員会副委員長が行い、その動画作成に協力した。

ウ 史料館の公開

コロナウイルス感染症の感染防止のため、前年度企画展「旧制小田原中学をめぐる文学者たち～校友会誌『相洋』を読む～」を継続し、新着任教職員対象を除く、すべての定例公開を見送った。

エ 史料館廊下の画廊整備

廊下を有効に活用し、絵画等を展示できるように、ピクチャーレール、ワイヤーフック、遮光カーテンを整備した。合わせて企画展コーナーも整備した。

オ 生物標本群の保存・活用

生物教材室の防虫剤を取り換え、絶滅危惧種等5点をクリーニング・補修して教材展示室に展示した。

オ 校史資料研究協議会

10月24日（土）に規約を制定し、横浜平沼高校真澄会、横須賀高校朋友会、横浜緑ヶ丘高校牧陵会、平塚江南高校同窓会、鶴見高校鶴陵会、本会からなる「校史資料研究協議会」が発足した。

(5) 校歌祭委員会

第15回青春かながわ校歌祭は、10月10日（土）に開催が計画されていたが、コロナウイルス感染症の感染予防のため、中止となった。

3 その他

(1) 小田高祭への参加

令和2年6月8日（土）、9日（日）の両日で、開催が計画されていたが、コロナウイルス感染症の感染予防のため、中止となった。

(2) 女性の役員登用について、各種役員に女性が参加するように呼びかけてきたところ、委員会等に徐々に増えつつある。

(3) 事務局員の複数化に向けた取り組みを進めた。

創立百二十周年記念事業予算（収支計算）書
（令和元年から令和3年まで）

《参考》

収入

（単位：円）

内 容	金 額	収入年月日	摘 要
樗友会分担金	100,000	01/11/13	現金で入金
樗友会分担金	400,000	02/04/24	さがみ信用金庫口座に入金
樗友会分担金	500,000	02/09/14	さがみ信用金庫口座に入金
窓梅会分担金	200,000	02/10/31	現金で入金
樗友会分担金	1,000,000	02/11/16	さがみ信用金庫口座に入金
PTA分担金	2,199,479	02/12/29	さがみ信用金庫口座に入金
樗友会分担金	500,000	03/02/16	さがみ信用金庫口座に入金
預金利息	4	03/03/03	-
合 計	4,899,483	-	-

支出

（単位：円）

事業名	内 容	金 額	支出年月日	支払方法
広報関係	懸垂幕代	60,940	02/09/07	振込払
	ポスター印刷代	7,400	02/12/28	振込払
(小 計)		68,340		
記念品関係	投光器代	208,580	02/04/24	振込払
	クリアファイル代	168,080	02/09/07	振込払
	トートバック代	644,380	02/11/17	振込払
	作法室空調設備工事代	1,008,040	02/12/30	振込払
(小 計)		2,029,080		
式典関係	史料館式典（作業経費）	22,330	02/09/17	振込払
	祝辞等録画（音響経費）	82,940	02/09/17	振込払
	講演料（中戸川仁）	300,880	02/10/09	振込払
	式典収録作業謝礼	160,000	02/12/12	現金払
	有料道路通行料	10,800	02/12/12	現金払
	消耗品代	8,647	02/12/12	現金払
(小 計)		585,597		
記念史関係	記念史編集作業謝礼	140,000	03/02/22	現金払
	記念史印刷代	1,897,940	03/03/01	振込払
(小 計)		2,037,940		
その他	データ作成代	6,160	02/06/22	振込払
	消耗品代	2,445	02/08/30	現金払
	ポスター等デザイン謝礼	10,000	02/09/18	現金払
	食事代	6,380	02/11/14	現金払
	消耗品代	6,667	02/12/12	現金払
	消耗品代	250	03/01/09	現金払
	振込手数料	1,100	03/02/06	現金払
(小 計)		33,002		
合 計		4,753,959	-	-

※ 収支差額（剰余金）145,524円

（収入合計：4,899,483円－支出合計：4,753,959円）

上記について、収入伝票、支出伝票、預金通帳を監査したところ、正確に処理されていたと認めます。

令和3年3月13日

会計監査 市川 明宏 印

会計監査 萬年 聡子 印

神奈川県立小田原高等学校同窓会

資料-3

令和2年度一般会計決算書

自：令和2年4月 1日

至：令和3年3月31日

(単位：円)

項・目	当初予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	説明
前期繰越資金(ア)	1,912,122	1,912,122	0	前年度からの繰越
収入の部				
1 入会金	1,600,000	1,595,000	△5,000	
1 新卒者入会金	1,595,000	1,595,000	0	同窓会入会金319名
2 中途者入会金	5,000	0	△5,000	
2 会費	5,808,000	6,093,000	285,000	
1 年会費	3,780,000	4,008,000	228,000	年会費1390名
2 終身会費	2,028,000	2,085,000	57,000	終身会費695名分
3 寄付金	120,000	108,328	△11,672	寄付金1件
4 負担金収入	40,000	0	△40,000	
5 広告料等収入	500,000	445,000	△55,000	同窓会報広告料等23件
6 雑収入	12,878	145,571	132,693	記念事業分担金の返還金、利息
7 繰入金	2,400,000	2,400,000	0	記念事業積立金取崩収入
収入計(イ)	10,480,878	10,786,899	306,021	
合計(ア)+(イ)	12,393,000	12,699,021	306,021	

項・目	当初予算額(A)	決算額(B)	増減額(A-B)	説明
支出の部				
1 事務費	1,140,000	888,088	251,912	
1 事務局費	390,000	368,695	21,305	事務局運営経費
2 事務局会議費	150,000	0	150,000	運営委員会等経費
3 常任幹事会費	180,000	136,499	43,501	常任幹事会経費
4 校内幹事費	10,000	0	10,000	校内幹事活動経費
5 会員連絡費	20,000	9,922	10,078	会員連絡経費
6 渉外費	80,000	35,000	45,000	慶弔費、慰労金
7 消耗備品費	90,000	60,304	29,696	事務用消耗品代
8 雑費(振込手数料)	220,000	277,668	△57,668	会費等振込手数料
2 事業費	9,453,000	7,287,449	2,165,551	
1 樞友祭・総会費	800,000	25,900	774,100	樞友祭、総会経費
2 入会記念品費	400,000	418,680	△18,680	同窓会入会記念品代
3 総務委員会費	253,000	250,645	2,355	総務委員会経費
4 交流委員会費	320,000	0	320,000	交流委員会経費、交流事業経費
5 広報委員会費	70,000	87,053	△17,053	広報委員会経費
6 史料委員会費	70,000	69,222	778	史料委員会経費
7 校歌祭委員会費	500,000	6,000	494,000	校歌祭参加経費
8 会報発行費	3,650,000	3,467,950	182,050	同窓会報32号印刷・送代
9 広報費	270,000	248,978	21,022	同窓会ホームページ管理費
10 地域職域同窓会費	270,000	0	270,000	地域職域同窓会参加費
11 同期会結成補助費	150,000	0	150,000	同期会結成費補助金
12 中等教育史料館費	300,000	313,021	△13,021	中等教育史料館運営経費
13 百二十周年記念事業費	2,400,000	2,400,000	0	百二十周年記念事業分担金
3 教育費	600,000	128,220	471,780	
1 教育活動費	460,000	95,000	365,000	運動部等大会参加激励金
2 学校援助費	140,000	33,220	106,780	学校支援費、ピアノ調律代
4 積立金	900,000	900,000	0	
1 記念事業積立金	200,000	200,000	0	記念事業積立金
2 予算調整積立金	700,000	700,000	0	予算調整積立金
5 予備費	300,000	0	300,000	
1 予備費	300,000	0	300,000	
支出計(ウ)	12,393,000	9,203,757	3,189,243	
当期収支差額(エ)=(イ)-(ウ)	-	1,583,142	-	

次期繰越資金(オ)=(ア)+(エ)	3,495,264	-	
合計(ウ)+(オ)	12,699,021	-	

前期繰越資金(ア)	収入計(イ)	支出計(ウ)	次期繰越資金(オ)
1,912,122	10,786,899	9,203,757	3,495,264

上記について、収入・支出伝票、帳簿、通帳を監査しましたところ、正確であることを認めます。

令和3年4月19日

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 室伏 創之 ㊞

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 田村 佳江 ㊞

神奈川県立小田原高等学校同窓会
財 産 台 帳

自：令和2年4月 1日

至：令和3年3月31日

【基本金・積立金】

(単位：円)

資産の種類	預貯金名	期首残高	増減額	期末残高
1 基本金	横浜銀行 積立定期預金	11,530,890	979	11,531,869
	さがみ信用金庫 積立定期預金	13,445,007	1,142	13,446,149
2 記念事業積立金	横浜銀行 積立定期預金	3,090,943	△2,199,899	891,044
3 予算調整積立金	さがみ信用金庫 普通預金	0	700,000	700,000
合 計		28,066,840	△1,497,778	26,569,062
増減額の内訳	増の内訳	・預金利息 2,222 (基本金：2,121、積立金：101) ・記念事業積立金の積み増し 200,000 ・予算調整積立金の新規積み立て 700,000		
	減の内訳	・記念事業積立金の取り崩し △2,400,000		

【保管金】

(単位：円)

資産の種類	預貯金名等	期首残高	期末残高	
3 保管金	横浜銀行口座	入会金	1,595,000	1,580,000
		年会費	1,699,800	1,724,810
		その他	230,000	0
		計	3,524,800	3,304,810
	郵便局振替口座	年会費	1,473,921	1,378,751
		終身会費	10,386,474	11,213,924
		その他	0	0
		計	11,860,395	12,592,675
	ゆうちょ銀行口座	—	1,848,976	3,376,103
	小口資金(現金)	—	63,146	119,161
	計	1,912,122	3,495,264	
合 計		17,297,317	19,392,749	
残高の内訳	前期前受金	15,385,195	当期前受金 15,897,485	
	一般会計前期繰越資金	1,912,122	一般会計次期繰越資金 3,495,264	

【基本金・積立金・保管金】

(単位：円)

合 計	45,364,157	45,961,811
-----	------------	------------

注) 一般会計では、現金預金から次年度前受分を差し引いた金額を「資金」として取り扱っている。

上記について、預貯金通帳、証書等を監査しましたところ、正確であることを認めます。

令和3年4月19日

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 室伏 創之 ㊞

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 田村 佳江 ㊞

令和3年度小田原高等学校同窓会榿友会 事業計画

1 活動目標

(1) 創立百二十周年事業の成果を発展

創立百二十周年記念事業として、学校、PTA、同窓会の3者で実行委員会を組織し、中等教育史料館の開設、バーチャル記念式典の実施等に取り組んだ成果を発展させるため、中等教育史料館の更なる充実に向け、同じ南館に設置されている窓梅会資料室の同時公開等の連携への働きかけ、記念講演講師など活躍する卒業生を招く事業等の検討を進める。

(2) 同窓会事業への会員参加の促進

「親睦事業・会費検討会」の答申を受け、新たに取り組みを始めた各種事業の一層の充実を図るとともに、榿友祭の企画に当たっての担当の同期会の協力を得るほか、各種事業の企画にも、学年同期会や地域・職域等同窓会の幅広い会員の参加を呼び掛けて行く。

2 委員会の活動

(1) 総務委員会

ア 令和3年4月新生に入学記念品（小田高歌集CD）を配布する。

イ 令和3年5月榿友祭において、小冊子「八幡山」を配付するとともに、「活躍する同窓生 経済界篇」のパネル展示を実施する。

ウ 令和4年3月卒業生（高74回）の同窓会入会用パンフレットを配布する。

エ 令和4年3月卒業生（高74回）に卒業記念品を贈呈する。

オ 同期会を結成した卒回に対し、同期会結成補助金を交付する。

カ 会員名簿情報（住所変更、物故者、新会員登録、教職員異動など）を随時更新する。

キ 会員管理ソフト「幹事長」のデータを更新し、同期会への住所情報支援等の利便性の継続を図る。

(2) 交流委員会

ア 令和3年度榿友祭（小田高ホームカミングデー）の実施

実行委員会を組織・運営し、十分なコロナウイルス感染症の防止対策を前提に、八幡山トーク、八幡山コンサート、創立百二十周年記念グッズの販売などを内容として、5月9日（日）に開催する。

イ 会員の親睦を深める交流事業の実施

○ 「第11回自然環境フォーラム」を6月20日（日）に小田原高校視聴覚室で開催する。

○ 「榿友ウオーク」

第8回 9月20日（祝）

第9回 令和4年3月の土曜日

- ウ 現役生徒を応援する下記交流事業を実施する。
 - 小田高音楽科が企画する「樫の葉コンサート」を支援する。
 - 助演同窓生出演料補助、記録CD作成を行う。
- エ 令和4年度樫友祭（小田高ホームカミングデー）の企画、準備を進める。

(3) 広報委員会

- ア 会報「八幡山」33号を12月に発行する。掲載内容は概ねこれまでの会報に準ずる。また、広告掲載の状況を見ながら、会員の情報発信と交流の場に相応しい掲載内容の充実を図る。
- イ リニューアルした同窓会ホームページの周知を図るとともに、同窓会活動の周知、参加呼びかけの手段としての活用や、会員及び会員相互の情報発信の場としての利用を一層促進する。

(4) 史料委員会

- ア 小田原高校中等教育史料館の運営
 - 利用機会を拡大するため、開館日と開館時間を増やし、校史ガイドを新たな募集方法により増やす。
 - 公開には、十分な感染対策を講じる。
 - 画廊が整備されたので、絵画やパネルを展示して活用を図る。
 - 窓梅会と連携し、史料館公開時等に窓梅会資料室の公開を図る。
- イ 史料館の整備
 - 校史展示室と図書展示室の蛍光灯をLEDに取替える。
 - 平成24年度まで続いた雨漏りにより汚損した教材展示室の天井板を取替える。
 - DVD視聴コーナーを設置する。
- ウ 史料の保存・活用
 - 大量の未整理史料を整理・保存し、校史資料目録へ入力するとともに、図書展示室の洋装本の目録を作成する。
 - 生物教材室の防虫剤を取替え、生物標本群の絶滅危惧種等をクリーニング・補修して展示する。
 - 小田高名物先生の冊子を作成する。
- エ 校史資料研究協議会
感染対策を講じて開催し、展示室運営や史料保存のため有意義な活動を行う。

(5) 校歌祭委員会

- ア 第16回 青春かながわ校歌祭は、10月2日（土）大和市文化創造拠点シリウスで、鶴見高校鶴陵会会長が実行委員長となり開催する予定で、準備が進められたが、コロナ禍の中で、安心して開催できないため、前年に続き、中止となった。
- イ 令和4年度に第17回を追浜高校うしお会が、よこすか芸術劇場で開催することとなり、校歌祭委員会は準備を進め、学校側の協力もお願いして教職員・在校生そして樫友会員と合わせ出演する。

3 その他

(1) 小田高祭への参加

6月12日(土)、13日(日)の両日、下記を実施する。(実施時期は、予定)

- ・ 小田原高校中等教育史料館の公開
- ・ 一般教室に「同窓会コーナー」を設置し、樫友祭で実施する「活躍する同窓生」のパネル展示他を行う。

(2) 各種役員に多くの女性が参加するように、引き続き呼びかけを行う。

(3) 事務局員の複数化に向けた取り組みを引き続き進める。

令和3年度一般会計予算

(単位:円)

項・目	令和3年度予算額	令和2年度予算額	摘 要
前期繰越資金	3,495,264	1,912,122	前年度からの繰越金
収入の部			
1 入会金	1,585,000	1,600,000	
1 新卒者入会金	1,580,000	1,595,000	高校73回卒入会金(317名)
2 中途入会者	5,000	5,000	中途入会者(1名)
2 会費	6,285,000	5,808,000	
1 年会費	3,900,000	3,780,000	年会費(1300名)
2 終身会費	2,385,000	2,028,000	終身会費(795名分)
3 寄付金	10,000	120,000	寄付金
4 負担金収入	0	40,000	
5 広告料等収入	150,000	500,000	樗友祭祝金、会報広告掲載料
6 雑収入	10,736	12,878	記念史等販売代、利息
7 繰入金	0	2,400,000	
合 計	11,536,000	12,393,000	
支出の部			
1 事務費	1,145,000	1,140,000	
1 事務局費	480,000	390,000	事務局費、運営委員会経費
2 事務局会議費	0	150,000	事務局費に統合
3 常任幹事会費	180,000	180,000	常任幹事会開催経費
4 校内幹事費	10,000	10,000	校内幹事会経費
5 会員連絡費	20,000	20,000	会員連絡経費
6 渉外費	80,000	80,000	慶弔費
7 消耗備品費	90,000	90,000	事務用品代、消耗品代
8 雑費(振込手数料)	285,000	220,000	年会費等振込手数料
2 事業費	6,891,000	9,453,000	
1 樗友祭・総会費	800,000	800,000	樗友祭、総会開催経費
2 入会記念品費	420,000	400,000	入会記念品代
3 総務委員会費	413,000	253,000	総務関係経費
4 交流委員会費	320,000	320,000	交流事業開催経費
5 広報委員会費	70,000	70,000	会報編集等経費
6 史料委員会費	70,000	70,000	企画展等経費
7 校歌祭委員会費	60,000	500,000	校歌祭打合せ経費
8 会報発行費	3,700,000	3,650,000	会報印刷・発送経費
9 広報費	270,000	270,000	ホームページ管理費
10 地域職域同窓会費	258,000	270,000	地域職域同窓会参加経費
11 同期会結成補助費	150,000	150,000	同期会結成補助金
12 中等教育史料館費	360,000	300,000	中等教育史料館管理運営経費
13 百二十周年記念事業費	0	2,400,000	
3 教育費	600,000	600,000	
1 教育活動費	520,000	520,000	運動部等激励金、教育活動支援費
2 学校援助費	80,000	80,000	ピアノ調律代、小田高祭協賛金
4 積立金	2,600,000	900,000	
1 記念事業積立金	200,000	200,000	記念事業積立金
2 予算調整積立金	2,400,000	700,000	予算調整積立金
5 予備費	300,000	300,000	
1 予備費	300,000	300,000	予備費
合 計	11,536,000	12,393,000	

令和 3 年度小田原高校同窓会常任幹事会議事録

日時 令和 3 年 4 月 25 日（日） 15:04～16:40

会場 小田原お堀端コンベンションホール

- 1 開 会（15 時 04 分）
司会の山本副会長より開会宣言があった。
- 2 定足数の確認
司会が、常任幹事会構成数 96 人（過半数は 48 人）、構成出席者 19 人（会議出席者は 23 人）、委任状提出構成者 46 人の合計 65 人で定足数に達していることを報告。
- 3 吉川会長挨拶
昨年はコロナ禍で、書面協議とさせていただき、初めてお会いしますが、会長の吉川です。
本日はお忙しい中、多数のご参加ありがとうございます。
昨年は創立百二十周年記念事業を実施しました。式典を計画したもののコロナの影響で、やむを得ずバーチャル式典として同窓会のホームページで公開した。また、記念事業の目玉として、中等教育史料館をオープンしましたが、小田高だけでなく、県内の中等教育の遺産として有意義なことであり、これを契機に学校の伝統や歴史をこれからも引き継いでいきたい。
今年度は、樫友祭も実施予定であるが、人の流れを抑制することが求められる中で、学校の理解を得ながら準備を進めたい。
これからも、皆さんの協力を得ながら同窓会の事業を進めていきたい。
- 4 中島学校長挨拶
同窓会からはいろいろとご協力をいただき感謝しています。
今年 4 月に校長として赴任しました。コロナ禍で校内では様々な制限はあるものの、学校の歴史や伝統を目にするたびに、生徒が精いっぱい頑張ってくれるようにしていきたい。
引き続き、同窓会の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。
- 5 議長選出
高 33 回河鍋 章氏を選出した。
- 6 議事録署名人選出
高 5 同期会 田嶋邦典氏、湯河原地区小田高会 小澤 稔氏（高 16）を選出した。

以下、常任幹事会の次第の順に、議事を進める。

- 7 報告事項
 - (1) 令和 3 年度総会 表彰の実施について
配布資料 1 について、会長が表彰の実施について報告した。

議長が質問等を受けつけるも、質問等の発言はなく、報告事項は終了した。
- 8 議 事
 - (1) 総会付託事項
 - ア 令和 2 年度会務報告(案)、事業報告(案)、一般会計決算(案)、財産台帳について
 - イ 会計監査の結果報告について の 2 件を一括審議

アについて、会長、各委員長、会計より、配布資料2～5をもとに説明した。
イについては、室伏会計監査より「4月19日(月)に会計監査を実施した結果、会計処理は適切であったこと認める。」との報告があった。

議長が質問等を受けつけるも、質問等の発言はなかった。

【採決】議案は、原案通り承認された。

ウ 令和3年度事業計画(案)及び一般会計予算(案)について
会長及び各委員長より配布資料6を、会計から配布資料7をもとに説明した。

(主な質疑)

- ・ 今年度の榎友祭について、実施の方向で検討が進められているが、高32回同期会として、例年実施されるティーパーティーに協力して今年は実施されるのか。また、緊急事態宣言が発出された場合は、実施されるのか。(高32 玉野氏)
 - － ティーパーティーについては、感染予防のため、今年度は中止し、会場内での飲食については、できる限り絞り込みたい。また、緊急事態宣言が発出された場合は、中止するが、できれば、八幡山トーク等については収録だけでも実施したいが、その場合でも、県教委のガイドラインに従って実施したい。
- ・ 中等教育史料館が開設されたが、コロナ禍の中、より多くの人に知ってもらうために、展示品を電子化し同窓会ホームページ等で見られるようにすることが必要ではないか。そうすることにより、多くの人が実物を見たいという気持ちになると考えられる。(県西地域小田高榎政会 森氏)
 - － 昨年は、定例的な公開がコロナ感染症のため難しかったが、今年度は、適切な感染防止対策を実施し、公開できるように努めている。展示品のホームページでの紹介に当たっては、撮影等で難しい点もあるが、できる範囲での紹介を考えていきたい。

議長が質問等を受けつけるも、他の質問等の発言はなかった。

【採決】議案は、原案通り承認された。

(2) 総会付議事項

ア 役員改選に伴う推薦(案)について
役員改選に伴う推薦(案)についてを審議
会長より配布資料8で、役員候補者選定委員会での議論の結果を踏まえ新役員の推薦について説明があった。
会長の説明の後、4月3日(土)に開催された役員候補者選定委員会で委員長を務めた沓澤隆哉氏(高9)から、新役員を推薦することの適否、候補者が積極的に運営に関われるか等について議論した結果、全会一致で推薦することとしたとの報告があった。

議長が質問等を受けつけるも、質問等の発言はなかった。

【採決】議案は、原案通り承認された。

イ 令和4年度総会の開催について
議長から、令和4年5月8日(日)10時～小田原高校 視聴覚室で開催するということを報告し、承認された。

本日の協議を受け、5月9日(日)開催の令和3年度同窓会総会に、「(1)の総会付託事項は、常任幹事会の承認事項として報告することとします」と、議長が発言した。

(3) その他

参考資料 1 及び 2 並びに創立百二十年史周年記念事業として作成した百二十年史、トートバッグ等配布した旨を事務局が報告した。

報告及びその他の事項に関して、質問等の発言はなかった。

9 閉 会 (16 時 40 分)

司会の山本副会長が閉会を宣言した。

令和 3 年 4 月 2 5 日 (日) に開催された、令和 3 年度小田原高校同窓会常任幹事会の議事内容は、上記の通りであることを確認する。

令和 3 年 4 月 2 9 日

議 長 河 鍋 章 ⑩

議事録署名人 田 嶋 邦 典 ⑩

議事録署名人 小 澤 稔 ⑩

※ 原本は、榿友会事務室で保管しています。